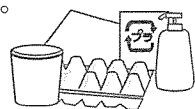


県外研修に参加して

西区己斐女性会 吉岡 克子
平成23年6月30日（木）梅雨の晴れ間、会員30名バスで出発。福山のエフピコリサイクルセンターへ。回収されたトレーが選別され、再資源化の流れの工程を見学。店頭で回収されたトレーを持ち帰りリサイクルする循環型リサイクル。工場ではいくらか機械化されても人手が必要で障害者雇用積極的に取り組まれており、生き生きと働いている若者の姿に気持ちが暖かくなりました。まだまだ回収率を上げる努力が必要とのこと。ゴミの分別はテクニックだけの問題ではなく、人のことを思いやることの大切さがいちばんだと思いました。次に高梁市の広兼邸、旧片山家住宅、郷土館など見学。銅山とベンガラで栄えた町並み、当時の繁栄をしのばせる建築物に江戸時代にタイムスリップしたようでした。

皆様と楽しく研修させていただき、有意義で幸せな一日になりました。



表彰されました

西区井口女性会 田中 武子
私は、市女連の推薦により、平成15年4月1日付で人権擁護委員を委嘱され、現在に至っております。

この度、全国人権擁護委員連合会長表彰をいただきました。これも、私を支えてくださった諸先輩方々をはじめ、多くの皆様の励ましや援助、そして、何より家族の理解と協力のおかげと感謝の気持ちでいっぱいです。人権擁護委員になってからは、たくさんの人との出会い、ふれあいができて、なにもものにも代えがたい、私の宝物になりました。

これからも、今まで同様、皆様の温かいお力添えをよろしく願いいたします。



リレー随筆

ごみゼロ・クリーンウォーク

東区矢賀女性会 浜中 菱子
6月5日、ごみゼロ・クリーンウォークに参加させていただきました。午前9時30分に広島市役所前で開会式後、配布されたゴミ袋、軍手、手拭いを手に不燃ゴミ収集組と可燃ゴミ収集組と二手に分かれ、市役所を出発。鯉城通り、そごう裏、グリーンアリーナ横の地下道を経て、閉会式の行われる中央公園までの2キロ余りの道のりでした。ゴミ拾いをしてみると、ビルの周り、歩道と車道の境、生垣の中まで清掃された場所が何カ所もあり、住民の方、企業の方の美化への関心の高さを感じました。これまで何気なく見ていた町を、別の視点から観ることが出来て貴重な体験をしましたが、一人一人ゴミを捨てない運動をこれからもしていかななくてはならないと思いました。



平和への思い

東区中山女性会 小坂 典子
昭和20年8月6日朝、広島に原子爆弾が投下された日、何拾万人の尊い命が犠牲になりました。毎年8月が来るたびに思い出されるこの日、広島市地域女性団体連絡協議会の会員が会長と共に平和公園の中に設置してある「嵐の中の母子像」と「ジュノー博士の碑」の前で供養しております。像と碑に花を手向け【原爆をゆるすまじ】の歌を合唱しながら核兵器のない平和な世界が来るよう祈りました。

編集後記

なでしこジャパンの活躍は女性の我々にとっても明るい光です。きょうちくとうの編集にあたり、皆様の御協力に感謝いたします。

手をつなぐ女性会からあなたへ

2011. 9. 16 第54号 発行部数 10,000



きょうちくとう



[編集・発行] 広島市地域女性団体連絡協議会
[発行責任者] 吉岡 恭子
[編集担当] 東区女性会

〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43
電話(082)243-3274 F A X(082)243-3270
ホームページ: <http://cyberbb.com/hjd/>

「全国指定都市地域女性団体連絡協議会研究集会」に参加して

市女連会長 吉岡 恭子
第58回全国指定都市地域女性団体連絡協議会研究集会が、去る6月16日・17日と、川崎市・横浜市で開催されました。広島市からは8名参加しました。行政からは、生涯学習課 三谷主査が参加して下さいました。

基調講演では、テレビレポーターの東海林のり子さんが「幸せに生きるために自分にかかる魔法」と題して、テレビから流れる口調さながらに講演され、1時間があっという間でした。

「弧をつなぎ、支えあう地域社会をめざして」を全体のテーマとして、出された5つの課題について参加7都市で協議しました。

広島市は、私達が取り組んでいる「環境問題」「男女共同参画推進」「青少年育成問題・子育て支援」のそれぞれの活動や問題点、またこれからの取り組みなど、報告いたしました。

各都市それぞれ地域性に合った活動がなされており、いい刺激と、ヒントをいただきました。これから広島市の活動にも、役立てたいと思いました。

広島市が開催都市に決定

第59回全国指定都市地域女性団体連絡協議会が、広島で開催されることが決定しました。市女連では、すでに準備が始まりました。今後、皆様に協力をお願いすることがありますが、どうぞよろしくお願い致します。

皆様と共に大会を成功させましょう。

日時：平成24年6月7日（木）・8日（金）
場所：リーガロイヤルホテル広島

今年度の大会における「指定都市宣言」

私たち全国指定都市地域女性団体連絡協議会は、本研究集会において女性団体と関係行政のあらたな協働によって、地域社会がますます活性化することを再確認いたしました。

この成果と指定都市のネットワークを活用し、常に学習と実践を継続し、各都市の女性会それぞれの特性を生かして、次の活動に取り組んでいくことをここに宣言致します。

- 1 持続可能な社会の実現をめざし、省エネルギー自然エネルギーの推進を通じて地球温暖化防止に取り組みます。
- 2 男女共同参画社会の確立のために各方面で男女が共に協力し合う地域に根ざした活動を推進します。
- 3 未来を担う子どもたちの健やかな成長を願い、各地域ぐるみで見守り育てる活動を展開します。

上記に基づき、広島市女連は活動してまいります。各区女性会、さらには各単位女性会もこの宣言を中心に活動していくことを望みます。

市女連大会を前に

市女連会長 吉岡 恭子

広島市女連は、女性団体として社会的視野の拡大を図り、情報や知識を活動に活かすため、また広島市女連全体の意識統一を目標に、毎年10月に「市女連女性大会」を開催しております。

今年度は、環境問題をテーマに講師に高木美保さんを迎えて講演をしていただきます。

また、日々の生活の見直しをして、私たちがCO₂排出量削減にどれだけ協力出来るか…大きな目標を掲げ、3年計画で市女連会員500名にお願いして、環境家計簿を記録していただいております。今年度は1年目に当たり、大会の中で集計の報告がなされます。

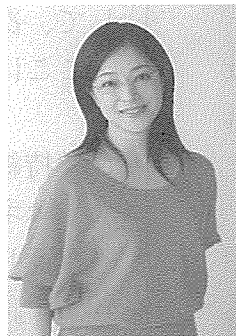
この大会を通じて、私たちに何ができるか!! 何をしなければいけないのか!! 一緒に考えていきましょう。

平成23年度 市女連女性大会

日時 平成23年10月28日(金)
13:00~13:30 式典
13:30~15:00 講演
15:00~15:15 環境家計簿報告
15:30 終了予定

場所 アステールプラザ
中ホール

演題 「命を感じて生きる」
講師 高木 美保



撮影/鍋島徳恭

講師プロフィール

タレント
1962年7月29日生まれ(出身地 東京都葛飾区)
1984年映画『Wの悲劇』でデビュー後、ドラマ『華の嵐』の主演をはじめNHK大河ドラマ等に出演、また、バラエティー番組にも挑戦し、お茶の間の人気者となる。
1998年11月、自然と共にある生活を求めて、栃木県那須高原に住まいを移し、農業に取り組む。

現在は芸能活動のみならず、講演や執筆業など幅広い活動を展開。

著書多数あり
フジテレビ「とくダネ!」レギュラー(水曜日のコメンテーター)



環境問題委員会 環境家計簿にチャレンジ

委員長 向井 春代

「環境家計簿」…聞かれたことがありますか。地球温暖化防止対策が叫ばれるようになってから、女性会では、環境家計簿をつけて我が家がどれだけCO₂を排出しているのか…記録にチャレンジしています。CO₂排出量の数値が少なければ少ないほど、地球温暖化防止に貢献しているのです。

CO₂排出量の計算式

電気	使用料(kwh)	×0.67
都市ガス	使用料(m ³)	×2.36
プロパンガス	使用料(m ³)	×6.45
水道	使用料(m ³)	×0.36

※排出量の係数(計算式)は広島市の数値を使用しています。

例えば…電気を例に考えてみます。

1ヶ月の使用料が360kwhだった場合
 $360(\text{kwh}) \times 0.67 = 241.2$

という計算になり、241.2kgのCO₂を排出したことになります。

さあ、各家庭に届く、「使用料のお知らせ」に書いてある数量を上記の計算式にあてはめて我が家のCO₂排出量を確認してみましょう。

- 使用しない電気はこまめに消す
- 冷暖房の設定温度を適切にする(熱中症に気をつけて!)
- 主電源を切り、待機電力を削減する
- 近所へ出かけるときは徒歩や自転車を利用する
- シャワーを出しっぱなしにしない
- エコドライブを実践する



一人ひとりの普段の生活の中で、ちょっとした工夫や、心がけをすることにより、CO₂が削減でき、より良い地球環境を次世代に繋げることができるのです。

青少年育成問題・子育て支援委員会 研修会報告

委員長 原田 慧子

日時 平成23年7月4日(月)
演題 「児童虐待の理解と防止活動について」
講師 広島文教女子大学人間福祉科

塚村 英幸 教授

青少年委員会は、今年度の活動として児童虐待を中心に研修していくことを目標として、上記の日程で第1回目の研修会をいたしました。

虐待とは、身体的、性的、心理的、またネグレクト等…があり、保護者からそのような虐待を受けた子どもは親に適用しようとして、親子間に歪みが生じてくるのです。

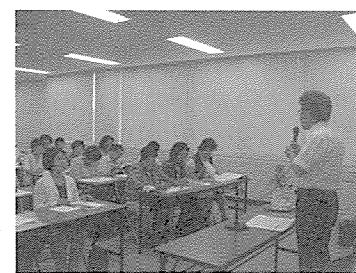
子どもに対する虐待は、家庭の中で行われる場合が多いのですが、身近で目撃した場合、通告により早期に介入して、虐待から子どもを守ることができます。

最近、都市化、核家族化の進行で、人間関係も希薄になる中で、育児の負担や不安を抱え込み社会的に孤立しがちです。すべて虐待につながるとは言いきれませんが、虐待をする親にも支援が必要と思われれます。

傾聴(ゆっくり聞いて相談に乗れる)できる場所が地域に欲しいと感じました。合わせて、地域でも子どもへの虐待防止について理解を深める必要性を感じ、学習の継続の大切さを改めて考えさせられました。

※アンケート集計報告(参加者48人中)

- ①講演の内容について…
大変良かった 16人
良かった 24人
普通 7人
わかりやすかった 5人
- ②虐待防止への関心度…
高まった 41人
変わらない 2人
- ③児童虐待は…
身近な問題 27人
かけ離れた問題 13人
- ④通報義務があることを知っていますか…
知っているし、通報先も知っている 32人
知っているが、通報先は知らない。 10人
知らない 5人



男女共同参画推進委員会 研修会報告

市女連副会長 西田 志都枝

日時 平成23年7月25日(月)
演題 「これからの男女共同参画について」
講師 広島市市民局人権啓発部長

高尾 ひとみ 氏

平成23年度第3回委員会は広島市市民局人権啓発部長 高尾 ひとみ氏を講師として7月25日に開催。これからの男女共同参画について詳細に語ってもらう事ができました。

1983年(昭和58年)は女性の地位向上を目指すための女性教育活動の時代でした。

1996年(平成8年)ひろしま21世紀男女共同参画プランが提案されました。

2000年(平成12年)には男女共同参画基本計画が制定され、いよいよ本格的な男女共同参画社会の形成時代となりました。

2011年(平成23年)第2次広島市男女共同参画基本計画が制定されました。

この30年、女性教育の時代から、男女共同参画の時代へと、目的も学びとる時代として、市女連も勉強を重ねてきました。現在では、ワークライフバランスの実現、イクメン、カジダンと目指すものは多様化しておりますが、依然として男性の暴力によるDV問題もあとをたちません。現実の問題への積極的な対応のためにも学習の裏付けは必要と考えております。

最後に、男女共同参画社会とは…男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に、政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受する事ができかつ、共に責任を負うべき社会…とあります。

次回、男女共同参画推進委員会の研修会は、加害者の立場にたったDVをテーマにしてDV加害者になる原因、加害者に対する支援など、勉強していきたいと企画しております。

次回も多数ご参加ください。

